

平成26年度 公益財団法人静岡県文化財団事業計画

1 基本方針

平成26年度は、スレート安全対策改修工事の実施に伴い、5月から大・中ホールが、8月からは全施設が11月まで休館となることから、例年とは異なる運営体制の中で様々な課題に的確に対応するとともに、12月の再オープンに向けて、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の施行を踏まえ、設置者である県と共に文化政策を推進する公益財団法人として力量を一層高め、組織の充実強化を図る。

これまで、財団は、グランシップを拠点に上質で多彩な文化振興事業を展開し県民文化の向上に寄与してきたが、大・中ホールが7ヶ月間利用できない中、こうした役割を中断することなく継続して推進するためには、県内の他の公立文化施設等と連携し、活動の場を広げ、これまで以上に積極的に事業を展開していくことが求められる。

さらに、財団が主催する自主企画事業を鑑賞する県民において静岡市民の占める割合が高い現状に対して、静岡市以外の地域における財団による文化振興事業を要望する声があることから、こうした県民のニーズに応えていくことが必要である。

こうしたことから、平成26年度の自主企画事業においては、『「上質」で「多彩」、そしてより「身近」に』を基本方針として、「はじめての劇場」、「開かれた劇場」、「つながる劇場」を3本柱として、子どものうちから多くの県民が文化・芸術に触れ、親しむ場づくりをコンセプトに、県内の公立文化施設や教育機関等との連携を強め、主な公演事業と学校プログラム・連携プログラム等のアウトリーチ事業については、県内各地域に財団が出向いて実施する。

こうした取り組みにより、財団の主催する事業に対する信頼感を醸成するとともに、グランシップに対する期待感を一層高めるよう努める。

自主企画事業の実施にあたっては、企画制作部門と貸館部門がそれぞれ培ってきた情報・知識を輻輳的に活用するため、学校プログラム・連携プログラム等のアウトリーチ事業については、休館中に事業の開催時期を集中させるなどのスケジュール調整を適切に行い、効率的・効果的な事業実施を図っていく。

また、平成25年度の公益財団法人への移行を踏まえ、引き続き財団の組織・財政基盤を強化するとともに、人材育成を図っていく。

1 法人運営

(1) 人材の育成、組織の専門性の強化

文化振興に積極的に取り組むため、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の指針に沿い、アートマネジメント等の公立文化施設職員としての専門能力、情報収集発信能力等を高め、財団の事業企画・実施、運営能力等を強化する。

なお、現在、公立文化施設職員としての資格認定試験が検討されており、実施される際には、その資格取得を職員に促していく。

(2) 新たな人事制度の構築

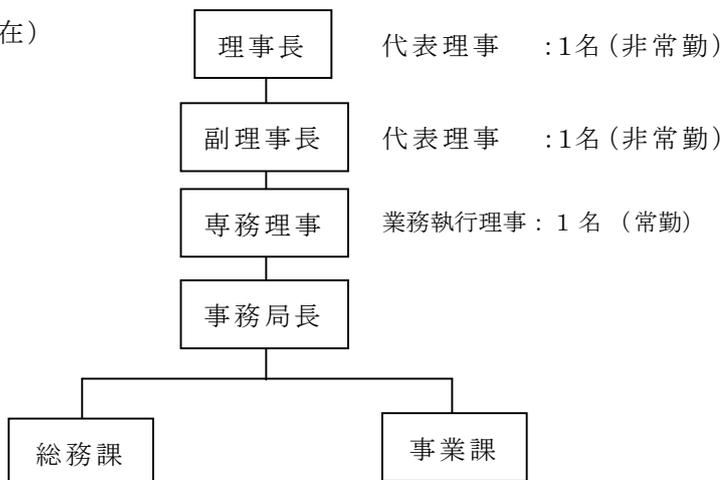
県の文化振興について、各職員が意欲を持って取り組めるような勤務環境・制度・給与体系や人事評価制度を導入し、効率的な人事制度を構築する。

(3) 経営指標の改善

引き続き厳しい財政状況が見込まれる中、公益財団法人として適正な予算執行を行い、より安定した経営環境を確立する。

○組織体制（予定）

（平成26年5月1日現在）



○ 財団事業一覧

公益目的事業			収益目的事業	その他	法人会計
文化・芸術の振興事業					
項目	グランシップ自主事業 (指定管理事業・芸術文化普及事業)	固有事業			
みる	・はじめての劇場 ・開かれた劇場	・中高生芸術鑑賞支援事業	—	友の会事業	—
つくる	・つながる劇場 ・文化支援としての効果的な「情報」の活用 ・催事情報提供事業	・「しずおかの文化新書」発行事業 ・地域文化活動団体顕彰事業	—	—	—
ささえる	・文化支援としての「人」を育てる環境づくり ・文化支援としてのささえる「ネットワーク」づくり	・ふじのくに文化芸術振興助成	—	—	—
グランシップ管理運営事業					
貸館事業(公益)			貸館事業(収益)		
貸館業務管理（施設貸出業務）			駐車場管理・運営事業		—
営業活動					—
広報・宣伝事業			—	—	—
施設の管理・運営	維持管理	施設・設備等	自動販売機等管理事業		—
		館内外装飾			
		リスクマネジメント（危機管理）			
	公立文化施設等との連携				
サポート組織運営			—	—	—
文化財団法人運営					
—			—	—	法人運営

II 事業概要

II 事業概要

1 文化・芸術の振興事業

ふじのくに文化振興基本計画を踏まえて、指定管理者として財団が管理運営を担当している県内唯一の県立複合文化施設である静岡県コンベンションアーツセンター グランシップを拠点に静岡県の文化・芸術の振興を図る。

実施に際しては、同計画の施策展開の方向として位置付けられている「みる」、「つくる」、「ささえる」を3本柱として、文化活動の主役は県民であり、地域文化の振興を担っていくものは一義的には地域住民や基礎自治体である市町等であるとの観点に立ち、「補完性」、「広域性」、「先駆性」に留意するとともに、県内の文化団体や文化施設、教育機関と密接な連携を図り、効率的かつ効果的な実施を図る。特に平成26年5月から11月末までのスレート安全対策改修工事期間を中心に、県の委託事業である芸術文化普及事業として、グランシップならではの公演を県内各地の文化施設で開催するなど、身近な場所で文化・芸術の鑑賞・体験ができる環境づくりに努める。

(1) 「みる」

事業費（資金収支ベース）：113,964千円

家族で、特に子どものときから上質で多彩な文化・芸術に触れる機会を作り出すため、グランシップを拠点にして、積極的に県内各地の学校等にも出向き、鑑賞や体験の機会を設ける。

子ども・学生料金の原則1,000円を引き続き設定する。なお、中高生が学校経由で鑑賞する場合、子ども・学生料金をさらに低く抑えて、800円とするとともに、遠隔地の中高生に交通費を支援する。また、新たに高校生の鑑賞では、静岡県高等学校文化連盟に協力を得るなど、中高生を中心に学生・子どもが鑑賞しやすい環境づくりに取り組む。

ア グランシップ自主事業—はじめての劇場

（事業費：69,864千円）

文化・芸術にはじめて触れる場としてのグランシップでは、「上質で、多彩なもの」をそして県内ではあまり鑑賞することのできない公演、展示等を実施する。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
バット・コレギウム・ジヤパン J.S.バット《マタイ受難曲》	4/12	グランシップ 中ホール	J.S.バット/マタイ受難曲
世界こども劇場	8/5 8/10 10/25	浜松市浜北文化センター 森町文化会館3ホール 御前崎市文化会館	世界の劇団による児童演劇を県内3会場で開催
マレク・ヤノフスキ指揮 バルリン放送交響楽団	3/20	グランシップ 中ホール	ブラームス/交響曲第1番ほか

◎伝統芸能

事業名	月日	会場	内容
人形浄瑠璃 文楽	9/28	菊川文化会館アエル	県内唯一の文楽公演を菊川市で開催
グランシップ 静岡能	1月	グランシップ 中ホール	グランシップ 恒例の伝統芸能公演

◎地域文化

事業名	月日	会場	内容
2014年しずおか連詩の会	11/16	大岡信ことば館	大岡信監修による連詩の創作、発表を三島市で開催

◎賑わい創出

事業名	月日	会場	内容
グランシップ トレインフェスタ2014	4/26, 27	グランシップ 全館	日本最大級の鉄道模型イベント
グランシップ こどものくに	5/3～6	グランシップ 展示ギャラリー、 交流ホールほか	手作業や身体感覚を使って 親子で楽しむ体験型イベント テーマは「動物」

イ グランシップ自主事業－開かれた劇場

(事業費：43,600千円)

文化・芸術に関心があるけれど、内容等がよくわからないと感じている人を中心に入門講座やワークショップ等を開催するとともに、積極的に県内各地の学校等に出向き、子どもたちを中心に文化・芸術の魅力を伝えるとともに触れる楽しさを体験するワークショップやミニ公演等を実施する。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
中学生のための音楽会	12/10, 11	グランシップ 中ホール	中学生が本格的なクラシックコンサート を体験
【学校プログラム】 演劇ワークショップ	5～6月	3校	演劇の楽しさを伝える ワークショップ

◎伝統芸能

事業名	月日	会場	内容
国立劇場 歌舞伎鑑賞教室	6/26	裾野市民文化センター	質の高い伝統芸能に触れる 入門公演を裾野市で開催
能楽入門公演	8/30	御殿場市文化会館	質の高い伝統芸能に触れる 入門公演を御殿場市で開催
事業名	月日	会場	内容
【学校プログラム】 国本武春浪曲出前公演	5～11 月	6校	名人芸を間近で鑑賞でき、 浪曲の魅力を伝える公演
伝統芸能普及プログラム	4～3月	4か所	文化施設での能楽ワークショップ、 学校公演、大学出張講座等

◎地域文化

事業名	月日	会場	内容
「しずおかの文化」講演会 「しずおかの文化」体感ツアー	未定	グランシップ 会議室 館外	「しずおかの文化新書」と 連動した地域文化の掘起し
【学校プログラム】 詩人と語ろう！ことばと語 ろう！	11/16	大岡信ことば館	高校生を対象とした連詩の ワークショップを三島市で開催
【学校プログラム】 連詩をつくろうワークショップ	5～3月	6校	詩の創作と連詩の楽しさを 伝えるワークショップ

ウ 中高生芸術鑑賞支援事業

(事業費：500千円)

静岡県内の中高生が県内の公立文化施設で芸術文化を鑑賞する場合、交通費負担の軽減を図るため、交通費の一部を支援する。

項目	内容
支援対象	県内の中高生で、当財団指定の文化芸術を鑑賞した者 ・26年度は、グランシップ主催公演で、開催会場から直線距離で10kmを超える場合のみ対象 ・申請者は、支援対象者が所属する学校長
支援額	一人当たり2,000円を上限として、現に要した交通費

(2)「つくる」

事業費（資金収支ベース）：57,079千円

県民の文化・芸術活動を促進するため、文化活動をしようとする人やすでにしている人に対して、グランシップ等で発表する場を設けるとともに活動に必要な情報を集約し、提供する。

また、新たな地域文化の創造を進めるため、優れた活動をしている文化団体を顕彰する。

ア グランシップ自主事業—つながる劇場

(事業費：32,179千円)

文化活動をしている人たちがコンサート等に参加できる機会や相当程度活動していて、さらなる飛躍を目指す芸術団体に対して、発表の場を提供する提携公演も引き続き取り組む。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
グランシップ 音楽の広場2014	8/3	富士市文化会館 ^{トピア}	本県ゆかりの演奏家300人による大オーケストラ等県民参加型で、家族で気軽に楽しめるクラシックコンサートを富士市で開催
ビッグバンド・ジャズフェスティバル2014	11/8	静岡市清水文化会館マリナート	アマチュアビッグバンドによるジャズフェスティバルを静岡市清水区で開催
提携公演(シフォニック静岡) (静岡フィルハーモニー管弦楽団) (静岡現代舞踊協会) (琉神)	4/19 2/15 3/1 3/15	グランシップ 交流ホール グランシップ 中ホール グランシップ 中ホール グランシップ 中ホール	県内芸術団体への発表の場の提供

イ グランシップ自主事業—文化支援としての効果的な「情報」の活用

(事業費：4,650千円)

文化団体、会場、助成、人材募集等の文化関連情報を集積、公開している静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」を引き続き管理運営するとともに、さらに利用される環境づくりに取り組む。

なお、平成27年度開設を目指して、「文化情報センター」の準備を進める。

ウ グランシップ自主事業—催事情報提供事業

(事業費：15,000千円)

グランシップで開催する各種催事情報、施設利用促進のためのPRや県内の文化情報の提供に取り組むが、「ON BOARD」及び「G. [ジー]」等の情報提供の在り方を検討し、広報誌等を再構築する。なお、グランシップ主催事業だけでなく、スレート安全対策改修工事後から、貸館事業等のWEBを活用したチケット販売ができるよう、準備を進める。

エ 「しずおかの文化新書」発行事業

(事業費：4,500千円)

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として、後世に伝えていくために、静岡県内の文化にまつわる様々な事柄を1つのテーマとして取り上げ、「しずおかの文化新書」を編集・発行する。

なお、グランシップ自主企画事業として、本事業と連携した「しずおかの文化」講演会（4回）、体感ツアー（4回）を実施する。

項目	内容
発行回数	2冊/年
部数	3,000部発行（うち無償1,000部：県・市町、図書館、高校等）
規格	新書判、200頁程度/冊
テーマ	企画編集委員会（委員5名）において決定
販売価格	本体476円＋税/冊、県内書店及びWEBサイト等で販売

オ 地域文化活動団体顕彰事業

(事業費：750千円)

ふるさとの伝統を礎に、新たな地域文化の創造を目指し、県内各地で多彩で優れた文化活動を展開している団体を公募し、顕彰する。なお、グランシップ文化支援事業として、表彰の際に、新たに文化関係団体が研鑽、交流する場を設ける。

項目	内容
募集期間	平成26年8月～9月
対象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献している静岡県内に活動の本拠を置く文化団体
選考・発表	当財団の「地域文化活動賞選考委員会」において選考し、受賞団体を公表（平成26年12月）
表彰	・地域文化活動賞 1件 賞金10万円、賞状 ・地域文化活動奨励賞 若干 賞状

(3) 「ささえる」

事業費（資金収支ベース）：8,650千円

文化・芸術活動を促進するため、その活動を支える人材を育成するとともに活動している団体や個人が交流する場を設け、さらに活動等に対して資金的な支援にも取り組む。

ア グランシップ自主事業－文化支援としての「人」を育てる環境づくり

(事業費：2,310千円)

県の中核施設として、県内の公立文化ホール（文化政策を担う）スタッフの資質向上や交流を促進するため、引き続き「文化施設職員のためのアートマネジメントセミナー」や大学生を対象としたインターンシップを実施する。

項目	アートマネジメントセミナー	インターンシップ
対象	県内の公立文化施設職員	大学生
目的	職員のアートマネジメント能力の向上と公立文化施設間の連携を進める	座学と実習(グランシップの公演)を組み合わせたインターンシップ
期間	平成26年6月頃～27年3月計10回程度	平成26年6月頃～10月
募集人員等	10人程度	4コース程度

イ グランシップ自主事業－文化支援としてのささえる「ネットワーク」づくり

(事業費：2,040千円)

地域文化活動賞の表彰式と連動した記念フォーラムを開催する。

これは、平成27年度から開催予定の、県内の文化団体やアートNPOが一堂に会してセミナー、相談コーナー、交流会等に参加することで運営に必要なノウハウや知識、ネットワークを取得できる「アート・サポート・フォーラム（仮称）」のプレ開催として、企画するものである。

項目	内容
月 日	平成27年 3 月
会 場	グランシップ 会議ホール・風
概 要	講演、トークセッション、交流会ほか

ウ ふじのくに文化芸術振興助成

(事業費：4,300千円)

県民の多彩な文化活動や、その文化活動を「ささえる」活動の活性化を促し、また地域において文化を育む拠点を形成し、しずおかの文化芸術の発展に寄与するため、文化団体等へ支援する。

項目	内 容			
メニュー	文化交流・発信事業	公立文化施設の連携・交流事業	「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	①国際文化交流事業 ②広域的芸術文化事業 ③住民参加型自主企画事業	二以上の県内公立文化施設が連携し実施する文化事業で、各館の企画力の向上、連携・交流に寄与する事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	公立文化施設の設置者、運営者	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	単年度	複数年度(原則3年、5年が限度)	複数年度(原則3年、5年が限度)
補助額	10万円から50万円(自己負担額1/2以内)	10万円から100万円(自己負担額以内)	10万円から50万円翌年度以降通減	10万円から50万円翌年度以降通減
募 集	年1回	年1回	年1回	年1回
審査方法	書類審査	書類審査	外部審査員も含めた書類及び対面審査	外部審査員も含めた書類及び対面審査

(4) グランシップ自主事業(指定管理事業+芸術文化普及事業(県委託事業))

事業費(資金収支ベース)：221,143千円(再掲)

上記の(1)から(3)において、県の施策体系に沿って分割して一部触れた指定管理業務であるグランシップ自主事業を改めてここで全体として再度掲載する。

県民の文化創造発信拠点であるグランシップにおいて、「上質で多彩、そしてより身近に」を基本として、質の高い公演の招聘や、自ら企画制作する自主企画事業、催事情報提供事業を実施する。

なお、平成26年5月から11月末までのスレート安全対策改修工事期間を中心に、「世界のこども劇場」や「グランシップ音楽の広場」、さらにアウトリーチ事業など館外で実施する事業を「芸術文化普及事業」(県委託事業)に再編し、グランシップならではの公演を県内各地の文化施設等で開催する。

また、「ふじのくに文化振興基本計画」に基づく積極的な文化支援については、グランシップを拠点とし、中間支援組織としてのセンター機能を発揮すべく、より一層、多面的な取組みを推進する。

さらに、企画運営体制の強化を図るため、引き続き外部専門家による企画アドバイザーに助言・指導を受けるとともに、県民のニーズを把握するため、モニター制度と来場者アンケートを実施し、企画・運営に反映する。

ア 自主企画事業

(事業費：206,143千円) (再掲)

グランシップの催事なら『確か、安心、本物』という信頼感と『グランシップへ行けば何かがある』という期待感を集める文化拠点を目指す。具体的には、多目的な複合施設の特性を生かし、「現代舞台芸術」、「伝統芸能」、「地域文化」のジャンルを中心にこれまでのリソースとネットワーク、そして専門人材を活かして次に掲げる4つの柱に基づき、事業を展開する。

特に子どものうちから上質で多彩な文化・芸術に触れる機能の充実を図る。

項目	事業本数	入場参加者数(人)
はじめての劇場—上質な芸術、文化に初めて触れる場づくり	11本	56,550
開かれた劇場—開かれた文化環境づくり	36本	21,100
つながる劇場—文化活動・交流の場づくり	7本	9,850
文化支援—中間支援組織のセンター機能の推進	3項目	500
合計	54本・3項目	88,000

1 はじめての劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要	
現代舞台芸術						
1	ハッハ・コレギウム・ジャパン J.S.ハッハ《マタイ受難曲》	○★ ☆	4/12 (土)	15:00 中ホール	700	指揮:鈴木雅明、管弦楽&合唱:ハッハ・コレギウム・ジャパン、静岡児童合唱団ほか
2	世界の子ども劇場		8/5 (火)	未定 浜松市浜北文化センター	50	海外の劇団による児童演劇祭
			8/10 (日)	未定 森町文化会館ミキホール	50	
			10/25 (土)	未定 御前崎市文化会館	50	
3	グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズライブ	○★ ☆	12/20 (土)	未定 中ホール	600	出演:前田憲男(p、編曲)、北村英治(cl)ほか
4	マレク・ヤノフスキ指揮 ヘルシン放送交響楽団	★☆	3/20 (金)	未定 中ホール	800	演目:ブームス/交響曲第1番ハ短調ほか
伝統芸能						
5	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	○★ ☆	8/28 (日)	13:30/18:00 菊川文化会館アエル	1,350	文楽協会による人形浄瑠璃公演、演目:(昼の部)、(夜の部)
6	グランシップ 静岡能	○★ ☆	1/18or25 (日)	14:00 中ホール	750	観世流能楽師による能楽公演
7	グランシップ 寄席	○★ ☆	3/13or14 or15	未定 交流ホール	250	季節や他の催事と連携したテーマ設定による、話芸を中心とした寄席
地域文化						
8	2014年 しずおか連詩の会	★	11/16 (日)	14:00 大岡信こば館	200	大岡信監修、5人の詩人が3日間で40編の連詩を創作・発表
賑わい創出						
9	グランシップ トレインフェスタ2014		4/26,27 (土、日)	10:00-17:00 全館	24,000	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会など、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
10	グランシップ こどものくに		5/3-6 (土-火)	10:00-16:00 展示G、交流H他	12,000	ゴールデンウィーク期間中に、未就学児とその家族を対象とした無料体験型イベント、「動物」をテーマに様々な空間やワークショップを実施
11	高松宮妃のおひなさま展		2/13-3/3 (金-火)	10:00-17:00 展示ギャラリー	15,750	静岡県が所有する高松宮妃ゆかりの雛人形・雛具を公開展示

2 開かれた劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
現代舞台芸術					
1	合唱ワークショップ ～歌のメロコラント～	5/3 (土・祝)	14:30 中ホール	600	親子3世代で歌い継ぎたい童謡・唱歌を楽しみ、鑑賞するファミリー参加型のワークショップ 講師:戸崎文葉、合唱:静岡児童合唱団
2	世界の子ども劇場ワークショップ	8/5 (火)	未定 浜松市浜北文化センターほか	60	「世界の子ども劇場」の出演者による子ども向けワークショップ
3	ビッグバンド・ジャズフェスティバル ジャズクリニック	11/7,8 (金,土)	未定 静岡市清水文化会館 マリナート	50	ザ・ブルースカイオーケストラのメンバーによるジャズクリニック。受講生は「ビッグバンド・ジャズフェスティバル」の本番に出演
4	第35回静岡県学生音楽コンクール 2014	8/16(土) 本選	9:30 静岡市民文化会館	1,450	県内の小、中、高校生を対象とした歴史ある音楽コンクール
5	音楽ファシリテーター養成講座	8月	未定	70	音楽ワークショップのプロによるファシリテーター人材を育成するワークショップ 講師:マイク・スベンサー
6	中学生のための音楽会 (4公演)	12/10,11 (水,木)	10:30/13:30 中ホール	3,200	中学生が本格的なクラシックコンサートを体験 指揮:井上道義、演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団
7	オーケストラ事前講座	2月	未定	120	「マレク・ヤノフスキ指揮 ヘルシン放送交響楽団」演奏会に伴うプレ・レクチャー
8	【学校プログラム】 グランシップ 音楽の広場キャラバン	5-7月	未定	400	「グランシップ 音楽の広場」の出演者が学校や福祉施設等に出向きミニ公演を実施
9	【学校プログラム】 新日本フィルハーモニー交響楽団団員 出前公演	5-11月	未定	450	「中学生のための音楽会」に出演する新日本フィルハーモニー交響楽団の団員が学校や福祉施設等に出向きミニ公演を実施
10	【学校プログラム】 奥田"スインギー"英人公開レッスン	5-10月	未定	100	奥田"スインギー"英人によるジャズの公開レッスン
11	【学校プログラム】 演劇ワークショップ	5-6月	未定	150	「子供のためのシェイクスピア」シリーズの俳優による演劇の楽しさを伝えるワークショップ
12	【アートマネジメントセミナートライアル事業】 音楽アウトリチ	1-3月	未定	60	アートマネジメントセミナー研修生によるトライアル事業として実施する音楽アウトリチ事業
伝統芸能					
13	歌舞伎事前講座	5月	未定 裾野市民文化センター	100	歌舞伎について本公演のみどころを紹介する講演会
14	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室(2公演)	★☆ 6/26 (木)	11:00/14:30 裾野市民文化センター	1,400	国立劇場で人気の高い「歌舞伎鑑賞教室」事業の出張公演(2公演) 演目:「ぢいさんばあさん」、出演:中村扇雀ほか
15	文楽事前講座	8月	未定 菊川文化会館アエル	100	文楽の基礎知識や本公演のみどころを紹介する講演会
16	グランシップ静岡 能楽入門公演	○★ 8/30 (土)	未定 御殿場市民会館	1,200	初心者向け能楽公演 出演:観世流能楽師
17	【学校プログラム】 連詩をつくらう！ワークショップ	5-3月	未定	180	連詩の会参加詩人による、詩の創作と連詩の楽しさを伝えるワークショップ。講師:野村喜和夫(詩人)ほか
18	【学校プログラム】 詩人と語ろう！言葉と語ろう！	11/16 (日)	未定 大岡信こば館	50	連詩の会参加詩人による、詩の創作と連詩の楽しさを伝えるワークショップ。講師:野村喜和夫(詩人)ほか
19	【学校プログラム】 人形浄瑠璃「文楽」出前講座	7/8(火), 9(水), 10(木)	未定	300	「人形浄瑠璃 文楽」出演者による講座。出演:文楽座
20	【学校プログラム】 国本武春浪曲出前公演	5-11月	未定	600	名人芸を間近で鑑賞できる機会を提供し、浪曲の魅力を伝える公演。出演:国本武春
21	【学校プログラム】 宝井馬琴監修 講談教室	5-11月	未定	600	日本の伝統話芸の一つである講談の魅力を学び、体験してもらうための講座。講師:宝井琴星、宝井琴柑
22	【中高生鑑賞プラン特別講座】 歌舞伎レクチャー	5-6月	未定	200	国立劇場職員が歌舞伎の解説・見方等をレクチャー 講師:国立劇場職員
23	伝統芸能普及プログラム	4-3月	未定	200	能楽の魅力を知ってもらい、伝統芸能への関心を高める。市町公立文化施設での能楽ワークショップ、学校公演、大学出張講座等
地域文化					
24	静岡の魅力第8回フォトコンテスト (募集)	8月- 27.8月	-	-	静岡県の魅力を日本全国に発信することと写真文化の振興を目的としたフォトコンテストの作品募集
25	静岡の魅力第8回フォトコンテスト (巡回展)	未定	未定	6,000	過去の入賞作品等を県内各所の大型商業施設での巡回展
26	「しずおかの文化」講演会 (全4回)	未定	14:00 910会議室ほか	400	「しずおかの文化新書」のテーマに関連した講演会
30	「しずおかの文化」体感ツアー (全4回)	未定	未定	160	「しずおかの文化新書」のテーマに関連したツアー

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
賑わい創出					
34	グランシップ®懐かしの映画会 (全2回)	未定	未定 中ホール、映像ホール	900	文化庁及び東京国立近代美術館フィルムセンターと連携し、サポーター企画として昭和の名作映画の鑑賞機会を提供
36	撮影サポーター撮影写真展	12月	終日 3階共通ロビーほか	2,000	撮影サポーターが撮影したグランシップ®自主企画事業の写真を展示

3 つながる劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
現代舞台芸術					
1	○★ ☆	8/3 (日)	15:00 富士市文化会館 ロゼシアター	4,000	本県ゆかりの演奏家300人による大オーケストラ等県民参加型で、家族で気軽に楽しめるクラシックコンサート、指揮：広上淳一、演奏：グランシップ®音楽の広場オーケストラ、合唱団 他
2		11/8 (土)	13:00 静岡市清水文化会館 マリナート	1,500	県内アマチュア・ビッグバンドによるジャズ・フェスティバル、前日にはジャズクリニックを開催し、受講生のバンドも出演する
3		1/9 (金)	14:00/19:00 中ホール	1,700	静岡交響楽団による企業協賛コンサート
4	【提携公演】 シンフォニエッタ静岡 第34回定期演奏会	4/19 (土)	14:00 交流ホール	250	地元室内オーケストラによる定期演奏会
5	【提携公演】 静岡フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「ベートーヴェンは管弦楽教則本？」	2/15 (日)	未定 中ホール	800	地元オーケストラ、声楽家、合唱団による特別演奏会
6	【提携公演】 静岡県現代舞踊協会「モダンダンス 舞・あそぶ」	3/1 (日)	未定 中ホール	800	地元舞踊協会会員及びその門下生による舞踊公演
7	【提携公演】 琉神「チカラ2015 in Shizuoka」	3/15 (日)	未定 中ホール	800	沖縄民俗芸能活動家に稽古生による公演

4 文化支援

事業名	日程	参加者等	概要	
1	効果的な「情報の活用」	1年中	100	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」の管理運営と「文化情報センター」の設置準備
2	「人」を育てる環境づくり	未定	300	県内の公立文化ホールの職員のための「アートマネジメントセミナー」と、大学生を対象とした「インターンシップ」の実施
3	ささえる「ネットワーク」づくり	3月	100	地域文化活動賞の表彰式と連動した記念フォーラムの実施

2 グランシップ管理運営事業（指定管理事業）

事業費（資金収支ベース）：811,857千円

施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を通じて、グランシップ自主事業等の各種文化振興事業の拠点施設を運営するとともに、文化、芸術、学術及び国内外との交流のための施設の貸与事業及びその他の付帯事業を推進する。

一方、施設を有効に活用し、施設の貸与事業により得た収益を公益目的事業の財源に充てるなど、公益目的事業の一層の充実を図る。

改修工事に伴う休館期間中は、安全・確実な工事の実施のため、県及び工事関係者との連絡調整等を綿密に行うとともに、再オープン後の管理運営に支障がないよう、万全な準備をする。

また、県内の公立文化施設との連携やグランシップの運営への県民の参加・参画に努める。

(1) 貸館事業

（事業費：5,500千円）

ア 貸館業務管理

公共性と収益のバランスを確保しつつ「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーとしてホール・会議室・駐車場等の貸館事業を実施する。

平成25年度における施設稼働率は84%（仮）、年間コンベンション開催件数は40（仮）件であり、いずれも全国的にみても高い水準を維持している。

なお、5月から大・中ホールが、8月から11月までは全施設が休館となるが、休館期間中の顧客離れを招かぬよう、また、施設稼働時には行うことの出来ない備品の再配置や利用者に対するサービスメニューの拡大を図った業務の見直しを行う。

① 実施業務

項目	内 容
施設貸出し	受付から精算までの業務
貸館情報の提供	HPの充実、広報紙への情報掲載
利用者会議の実施	利用者の要望等のヒアリング、利用者間の交流の場
備品の再配置	休館期間中の備品の保管場所の見直し、及び棚卸し

② 顧客満足度の向上

- ・催事終了後のアンケート実施

【利用者満足度】（良いと回答した比率）（単位：％）

項目/年度	25	26	備 考
目 標	85.0	85.0	
実績（見込）	88.0	87.0	平成26年2月末現在

③ 顧客サービスの向上

- ・インターネット予約の促進（対象：収容人数100人未満の中小会議室・練習室）

【予約率】（単位：％）

項目/年度	25	26	備 考
目 標	50.0	50.0	
実績（見込）	45.5	50.0	平成26年1月 単月 WEB予約延件数／対象施設延件数 326件/716件=45.5%

- ・サービスメニューの拡充

多彩なニーズに対応するためのサービスメニューの拡充を図る。

項目	内容
貸館催事のPR	HP、館内案内サインシステム等の有効活用
催事サポートサービスメニューの拡大 (ワンストップサービス)	貸館利用者への営業方法、手数料などシステムの検討 ① 弁当斡旋の制度の再検討 ② ケータリング、臨時警備、清掃、看板、生花手配等の導入

④業務改善の推進

- ・貸館利用者が使用する有料・無料備品の更新料金改定及び管理方法の見直し
- ・貸館予約システムの一部改良（申請手続きや備品受付業務の簡素化）

イ 営業活動

県内外への営業訪問活動を行い、文化・芸術・学術催事を積極的に誘致し、施設設置目的により近づく施設利用の一層の拡大を図る。

なお、以下の活動を推進するため、申請受付における優先予約制度の導入を検討する。

区分	内容
文化・芸術・学術催事	静岡県文化協会に属する団体等への積極的な営業活動 文化・芸術催事の積極的な誘致
コンベンション	コンベンション主催者への訪問 大規模催事等を開催した主催者に対するアフターフォロー (公財)静岡観光コンベンション協会との連携 国際ミーティングエキスポ(IME)への参加(学術催事の誘致)

※大規模大会等（平成26年度利用予定）

催事名	会場	開催期日	入場者見込(人)
第17回在宅血液透析研究会	会議ホール他	4月19-20日	300
認知症市民公開講座(日本認知症学会)	会議ホール他	5月18日	500
第11回静岡県臨床工学会	会議ホール他	6月1日	200
第21回静岡県図書館大会	中ホール	12月8日	1,000
International Sympojium on Computing and Network	9 F	12月10-12日	200
H26年度高齢者権利擁護等推進「身体拘束廃止フォーラム」	中ホール	2月5日	600

(2) 営業・広報事業 (事業費：15,000千円(催事情報提供事業)・5,500千円(貸館事業の内数))

自主事業の来場者や貸館催事の主催者や参加者への広報だけではなく、財団の文化振興の取組みについても積極的に広報する。

広報に当たっては、文化振興とコンベンション誘致の両立を図るため、グランシップの戦略的な広報活動を展開し、グランシップのブランド化を図り、貸館利用の促進や来場者の増加を目指す。

① 戦略的広報の実施

- ・ホームページ、メルマガ、DM配信等を活用と広報媒体の効率的な運用により、施設と自主事業の情報提供に努める。
- ・広報誌等の再検討（G、ON BOARD、年間イベントカレンダー）

② マスコミとの連携

- ・ 顔の見える関係の構築

③ 広聴機能の充実

- ・ 自主企画事業のアンケート、インフォメーション、電話、ホームページ等を通じて寄せられる意見や要望により、ニーズの把握と分析を行い、各事業の改善に取り入れる方向で、財団内で対応・改善策を協議し、運営に生かす。

④ 業務内容

項目	内容
情報提供	ホームページでの情報発信、内容の改善 ポスターケース（館内外、E V）、館内案内サインシステムの活用 営業用チラシの作成
施設紹介	施設紹介パンフレットの作成 アニュアルレポートの作成（視覚的魅力を増す） グランシップ紹介ビデオの制作（施設・事業）
資料・記録の保存	アニュアルレポート、年報の作成（統計資料の作成） ポスター・チラシ、公演状況収録ビデオ、新聞記事等
その他	オリジナルグッズ・ノベルティグッズの製作、視察対応

(3) 施設の管理・運営

（事業費：639,279千円）

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップの指定管理者として、グランシップの利用者が安全に施設を利用し、人々が憩い集う、賑わいのある快適な空間を提供するため、専門業者に、警備、清掃等の各業務を委託しながら、ユニバーサルデザインに配慮し、適切に館の運営管理を行う。

修繕工事期間中は、周辺地域・住民の理解のもと、安全かつ確実に各工事が実施されるよう、県や工事関係者とのスケジュール調整や現場立会いなどの工事関係業務を行う。

また、（公社）全国公立施設協会等の加盟による公立文化施設との連携や県民参加システム（サポート組織）の運営により、県立施設であるグランシップの役割を果たす。

ア 施設の維持管理

① 施設・設備

平成26年度は、スレート安全対策改修工事と大規模修繕工事が予定されている。

当該工事の実施により、誰もが安心して利用できる施設となるため、工事に伴う業務を着実に遂行することはもちろん、工事箇所以外についても必要な点検等を実施し、再オープンに備える。

また、休館期間中の電気・ガス使用量の減少に伴い、本年度は電気・ガス使用における契約方法を従来と変更し、経費の削減を図る。

加えて、施設設置者から求められているサービスの向上と経費の削減を進めるため、引き続き警備・舞台管理等の委託業者と密接に連携するとともに、これまで培ってきたノウハウを活用して業務改善を図る。

② リスクマネジメント（危機管理）

グランシップが安全・安心・快適な施設であるために、職員だけでなく、委託業者社員を含めたグランシップのスタッフが、自分で考えて、迅速・的確に対応できるような体制を構築する。

③ 館内外の装飾（グランシップらしい演出）

来館者に、上質でアーティスティックな空間で、快適に過ごしていただくためにグランシップが文化ホールであることを意識して館の内外を演出し、賑わいを創出してきたが、より効果的な演出等を実現できるよう、休館期間中に実施方法等について検討する。

項目	内容
グランシップ 冬のおくりもの2014	<ul style="list-style-type: none"> ・再オープン前日の11月30日にクリスマスツリー点灯式 ・クリスマスツリー等の館内装飾 ・ロビーコンサート等
グランシップ アートコンペ (大ホールショーウィンドウの装飾)	来館者に、アートをより身近に感じていただくこと及び静岡を含めた全国のアーティストを支援すること（若手アーティストの育成）を目的に、大ホール ショーウィンドウを展示の場としたアートコンペを実施する。

イ 公立文化施設等との連携

（事業費：611千円）

文化施設の全国的協議会などに参加し、他の公立文化施設等と情報の交換、連携を図るとともにネットワークを活用する。

また、県内においては、県立施設であるグランシップが会長館である静岡県公立文化施設協議会のネットワークの充実を図り、県内市町の公立文化施設のレベルアップを図る。

（平成26年2月末現在）

加盟団体名	会員数	備考
公益社団法人 全国公立文化施設協会	1,267	平成25・26年度 全公文副会長・ 関東甲信越静岡支部長（事務局） 支部委員会開催：3回/年
静岡県公立文化施設協議会	38	会長（事務局） 幹事会・総会 : 2・4月 自主事業研究会 : 10月頃 管理・技術研究会 : 2月
全国展示場連絡協議会	69	
国際会議場施設協議会	32	
関東甲信越静岡地区文化振興財団等連絡会	12	
劇場・音楽堂等法人組織指定管理者協議会	50	理事

ウ サポート組織運営

(事業費：5,000千円)

グランシップの事業運営に、県民が自主的に参加・参画できる場を提供する。

また、この活動を通して県民の文化意識の向上を図るとともに、県内各地の文化施設で活躍できる人材を育成する。

特に、サポーターの能力を最大限発揮できる場を作るため、平成24年度からサポーター業務の再構築に取り組んでいる。

(平成26年4月1日見込)

採用区分	業 務 内 容	登録者数
広報業務	ダイレクトメール発送、広報勉強会、ポスター・チラシの館外での掲出・配架、来館者見学案内等	66人
イベント業務	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	69人
撮影業務	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理	15人
託児業務	公演時の託児サービス	4人
文化情報運営業務	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」におけるコンテンツの企画・運営等	22人
計		176人

3 友の会事業

事業費（資金収支ベース）：6,200千円

グランシップ主催事業（自主企画事業）への参加を促し、チケット販売に役立てるとともに、県民の芸術文化に対する関心を高めるため、「グランシップ友の会」の運営を行う。

なお、WEB上で席が選択でき、チケット購入ができるシステムを23年度から導入したことにより、個人会員の減少傾向が顕著になっているため、平成27年度からの新制度導入に向け、友の会制度の在り方について検討する。

種 別	年会費	特 典
個人会員	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> 自主企画事業のチケット優先予約（一般発売の1週間前） 指定する自主企画事業のチケット割引販売（10%OFF） 公演情報の無料提供 グランシップ友の会提携店及び提携館での割引サービス他
法人会員	特別会員	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌・グランシップホームページへの法人名掲載 グランシップ1階エントランスホールに法人名掲出 自主企画事業への招待（年間 特別会員20席、一般会員6席） 事務局が指定する事業の招待券を配布（登録従業員数分、上限 特別会員1,000枚、一般会員500枚） 法人会員の社員等は個人会員に対する特典と同様の特典を付与
	一般会員	

4 自動販売機等管理事業

事業費（資金収支ベース）：1,946千円

来館者へのサービスの向上を図るため、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、適切に管理する。

平成26年度においては、部分休館及び全館休館中に自動販売機を休止して光熱水費の節約に努めるが、再オープン後に利用者に不便が生じることをないように、自動販売機設置業者との連絡調整、管理を行う。

事業収益については、公益目的事業に活用し、県民へ還元する。